

中小企業の「付加価値向上」 のためのクラウド普及

2019年10月10日
日本商工会議所情報化推進部

基本スタンス

【視点】「決断」するのは小規模企業・中小企業自身

～(第4次産業革命の肝は)「サプライ」から「人間中心・顧客中心」へ

～「下請意識」からの脱却

【ゴール】

➤ キャズムを越えるとき、ビジネスモデルが変容する～DXへの変容

➤ オン・オフラインによる(DX時代の)エコシステムの形成

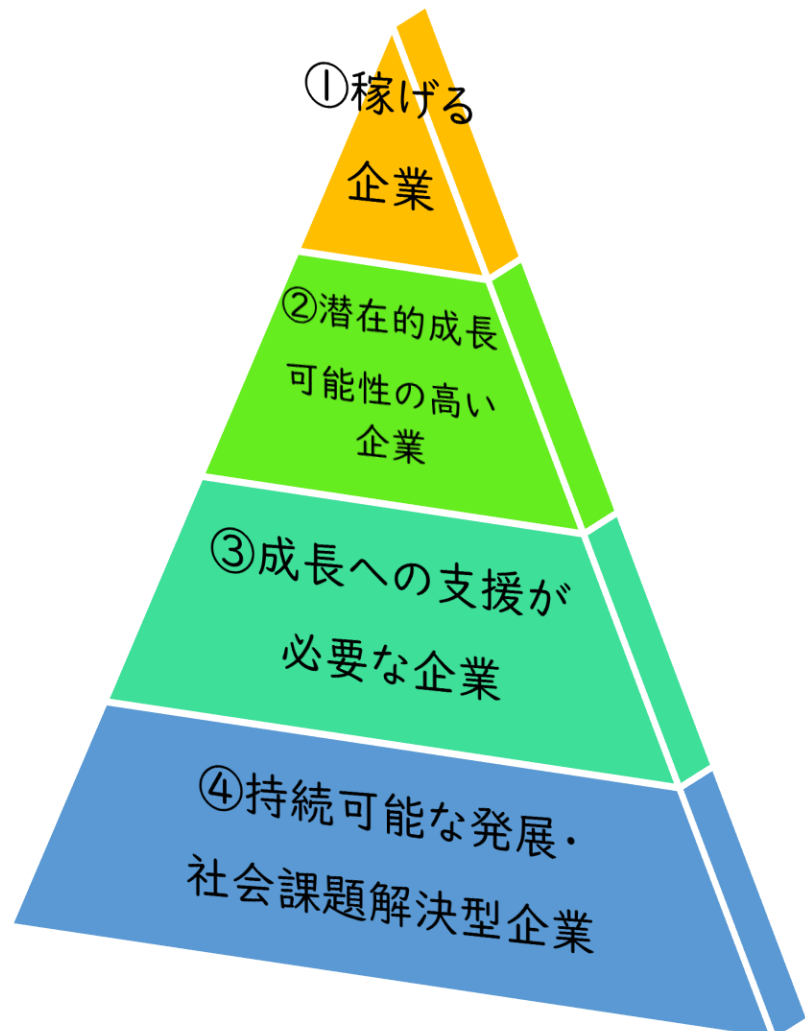
【喫緊の課題】

➤ 三村会頭挨拶より抜粋(2019年9月19日日商通常会員総会)

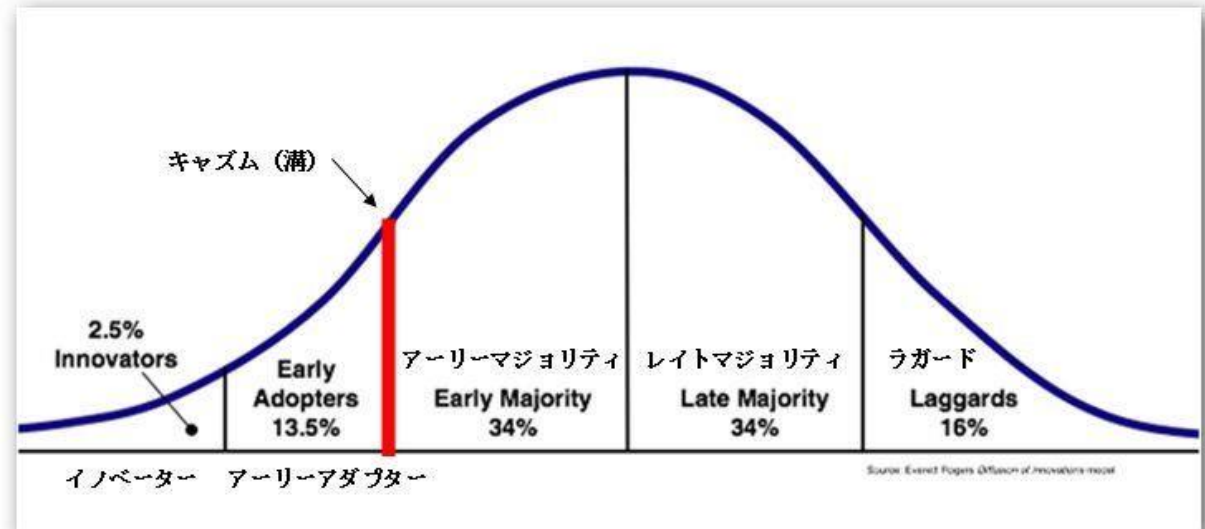
「『発火点』に至らない最大の理由は、事業者目線に立って、IT導入を支援する専門人材が不足していることにあります。近年、中小・小規模事業者が利用しやすいクラウドサービスが登場する中、IT支援人材の育成と専門人材と企業をつなぐマッチング機能を強化していくことが急務です。」

支援ターゲットと提供サービス

「成長企業の類型化の概念図」
(中小企業庁「スマートSME研究会」の図を基にアレンジ)

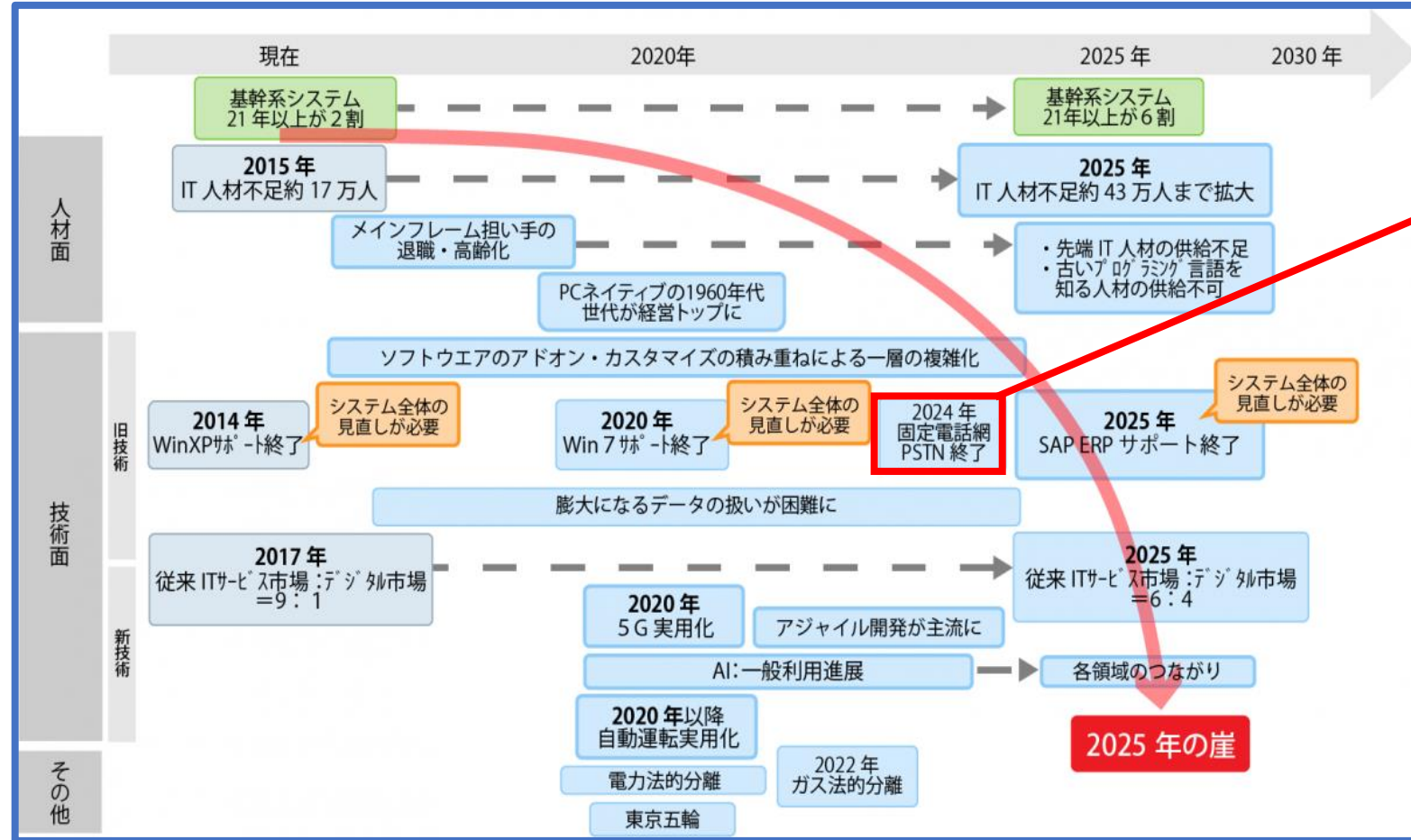


- 中小企業のうち、どのターゲットに何を届けるか。
- キャズムをいかに超えていくか。
- 左図に基づく、「地域経済の牽引層(①)」「中小企業のリーダー層(②)」そして「マス(③④)」の3階層を念頭に支援策を策定する。



DX 2025

～ITシステム「2025年の崖」克服とDXの本格的な展開～

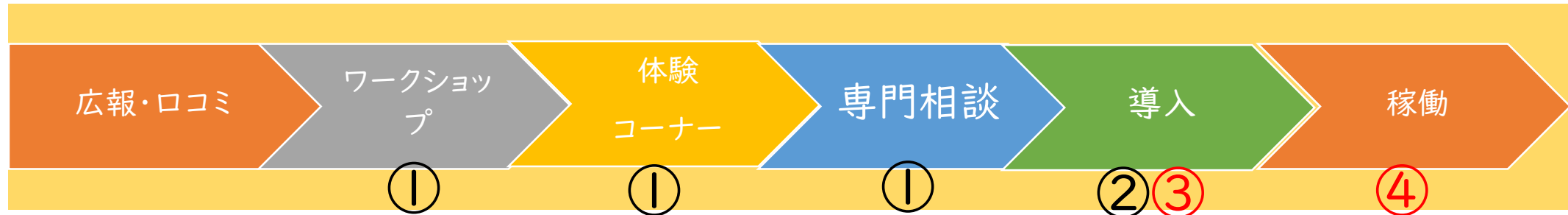


200万社以上の
企業への影響

※大企業・中堅企業のシステムの見直しが必要らしい。
※中小企業には、どんな影響があるのか？

出典: 経済産業省「DXレポート」

中小企業のIT実装へのイメージ



事業項目	概要
① 中小企業経営活力プラス実践塾	18年度より、NTTグループと共催で、セミナー・展示会・相談会をワンパッケージにした実践塾を開催。（18年度80回）
② クラウド推奨メニュー	日商が18年度作成したものを基に、中小企業基盤整備機構が「ここからアプリ」を19年3月公表。
③ <u>クラウド導入支援人材の育成</u>	小規模・中小企業向けに、クラウドサービスを組み合わせて提案できる支援人材の育成。（スマートSMEサポーター制度による見える化とマッチングの推進）
④ <u>全国中小企業クラウド実践大賞</u>	クラウド実践企業の顕彰を19年度より創設。（総務大臣賞・日商会頭賞など授与。経産大臣賞は要望中。）

小規模・中小企業のIT支援体制

【経営全般】

経営指導員
(3,400名)

【経営課題】

中小企業診断士
(約2.3万名)

税理士
(約7.8万名)

【行政機関】

地方公共団体、産業振興センター、公設試、
(産総研、産業革新投資機構)等

【IT支援人材】

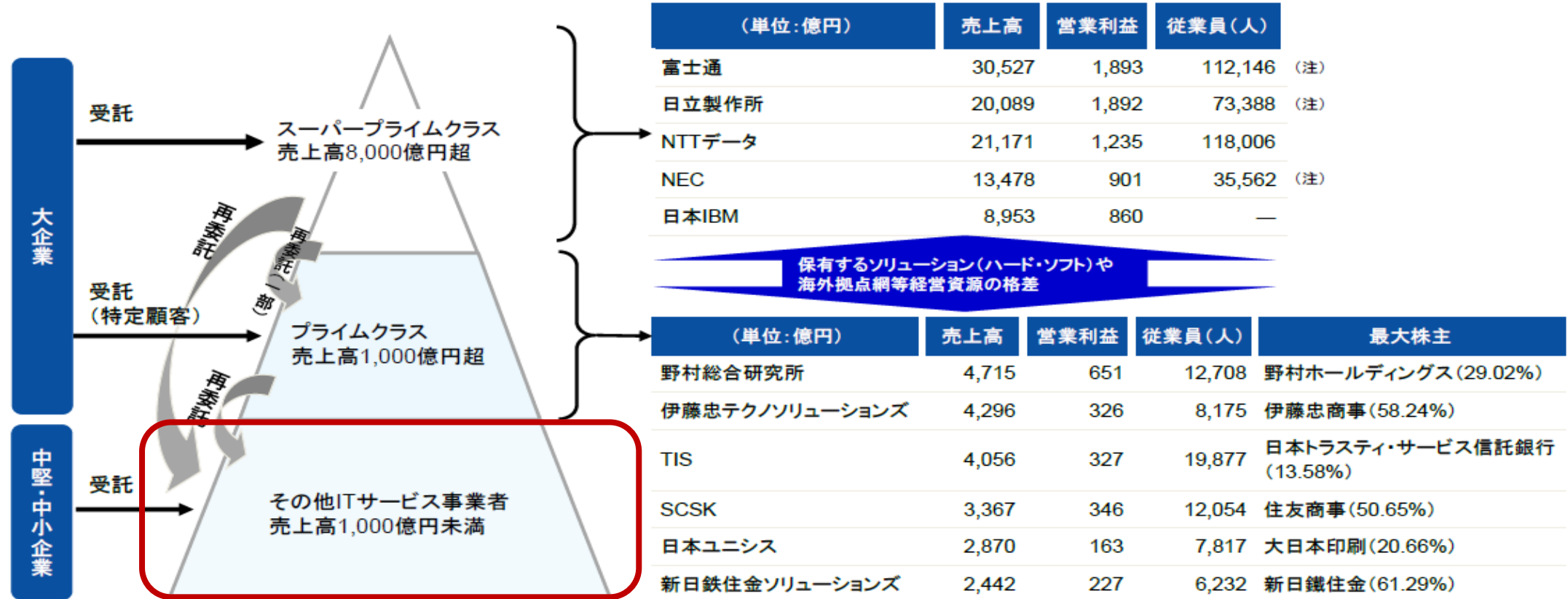
ITコーディネータ
(約6千名)

地域ITベンダー
(約1.7万社、65万名)

※経営指導員には、経営者の一次相談者として、経営課題を抽出し、適切な専門家にマッチングする「コンシェルジュ」の役割が求められる。

日本のITサービス

【図表 10】日本のITサービス産業の事業者構造



(出所) 各社公開情報よりみずほ銀行産業調査部作成

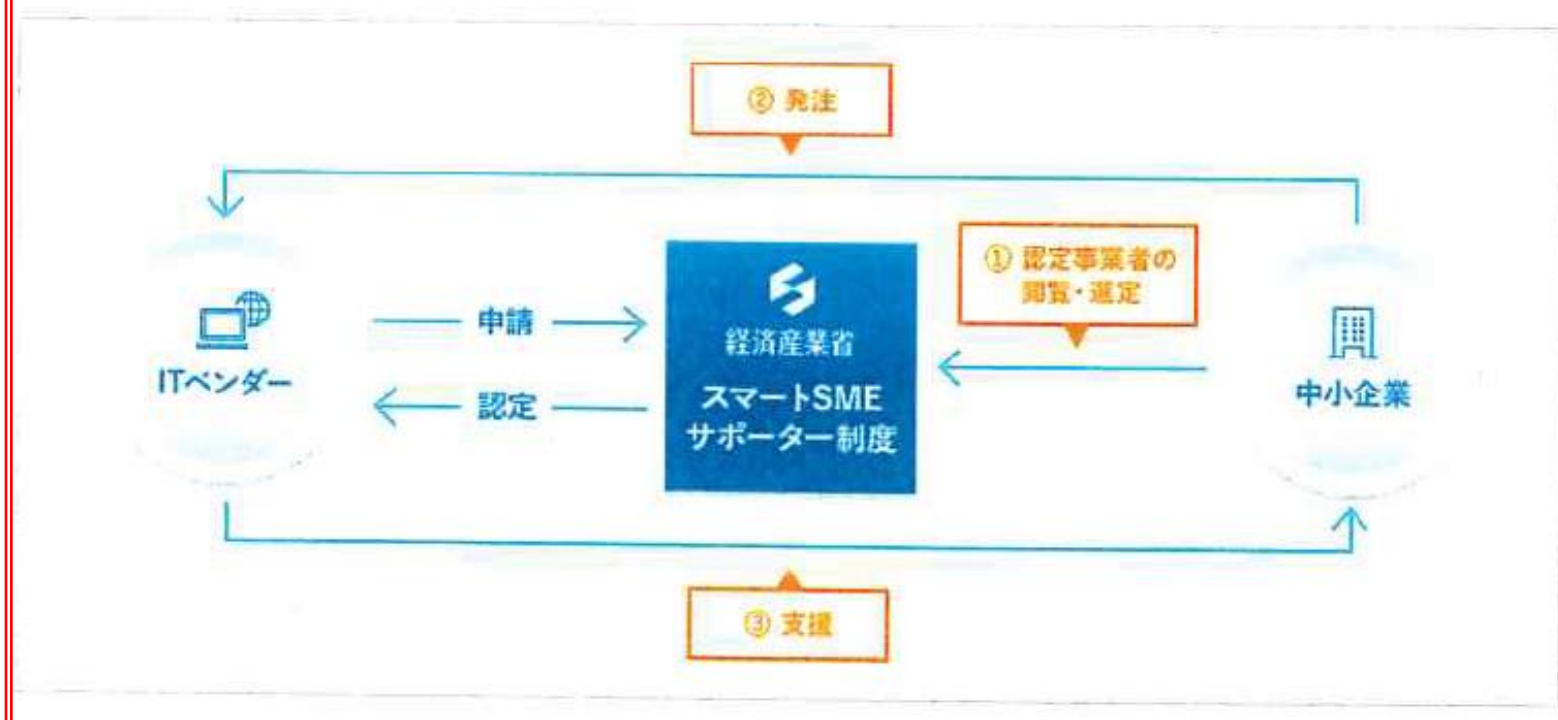
(注) 各社の売上高、営業利益、従業員数について、下記のセグメントを参照

富士通: テクノロジーソリューション、日立製作所: 情報通信システム、NEC: パブリック+エンタープライズ

経済産業省「スマートSMEサポーター制度」

中小企業にITツールを提供するITベンダー等を
「情報処理支援機関（スマートSMEサポーター）」として認定する制度を創設

中小企業が使いやすいITツールの開発促進や中小企業のIT導入を通じた生産性向上を図ります。



動画「クラウド活用で変わる中小企業の現場」 (つづく(株)井領氏の支援例)

<https://www.jcci.or.jp/it/2019/0327120000.html>



(図2) 同国産豆腐店の事務作業を「自動化」

改善前：社内の事務作業の大半が「手作業」

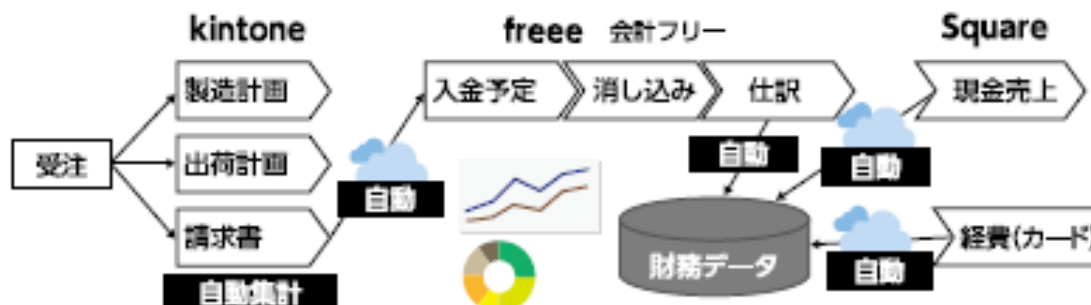


750時間/年

-600時間

150時間/年

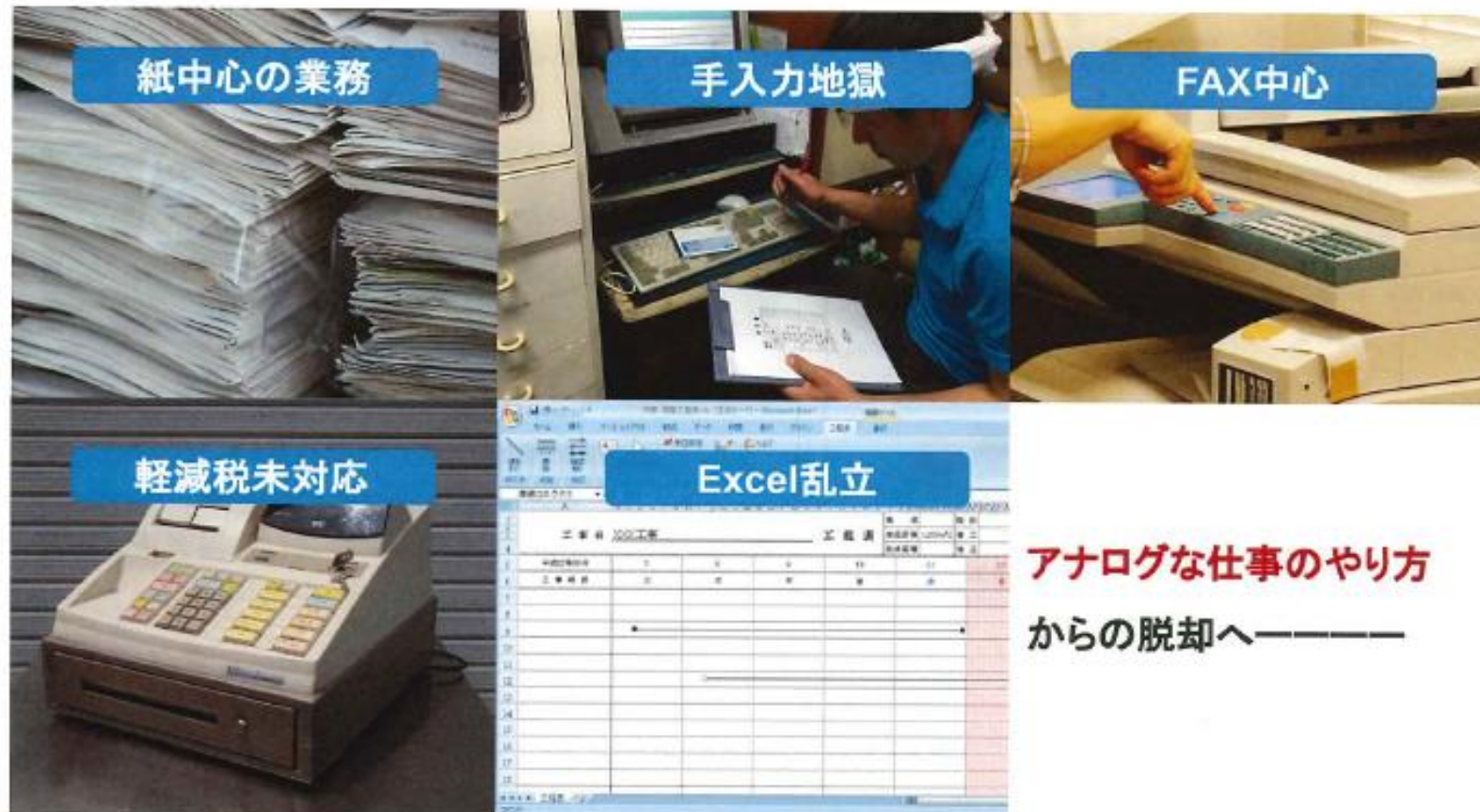
改善後：豆腐の受注から、請求、会計仕訳までを自動化



中小企業の現場のイメージ

クラウド時代の企業経営

ITを活用した働き方の抜本的改革

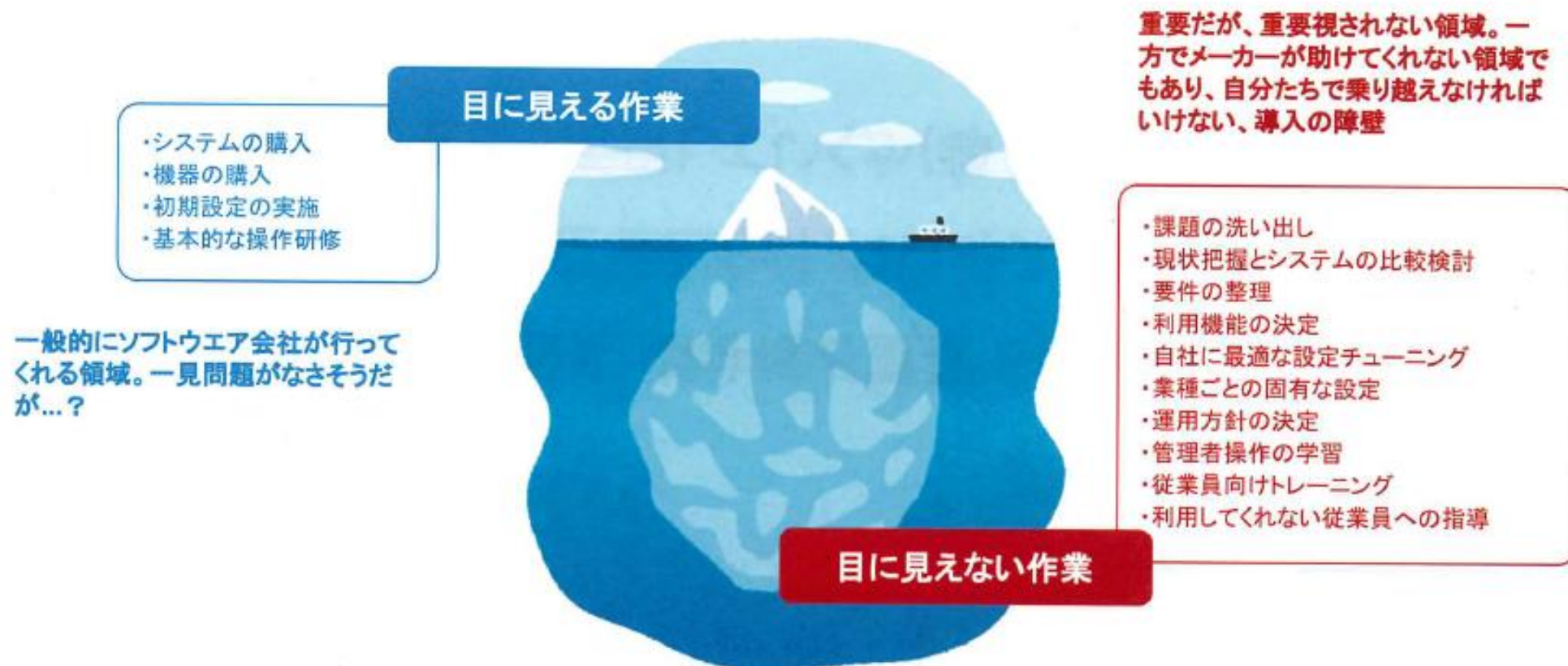


**アナログな仕事のやり方
からの脱却へ————**

クラウド化の作業イメージ

クラウド時代の企業経営

なぜ中小企業のクラウド化は失敗するのか？



なぜ中小企業のクラウド化は失敗するのか？

「初期設定」はさほど重要ではない。

自社の課題の整理と方針ぎめ(導入”前”)の上で、
クラウドをどう活用していくか(導入”後”)が重要

つづく（株）の支援事例 ～ 商売が「100年つづく」を当たり前～

株式会社とりやたまや 佐久



7店舗におけるPOSレジ導入
飲食(7店舗)/従業員: ~100名

株式会社ハルタ 上田



人事・経理業務の 60% を自動化
家具/建設/不動産/従業員: 20~30名

株式会社東郷堂/東郷商事 上田

暮らしの中に新聞を

東郷堂

TOGODO

勤怠管理～給与計算を自動化
新聞販売

株式会社ベジーツ 御代田



労務・経理自動化
農業/従業員規模: 30~40
名

木下建工 佐久



勤怠・給与自動化
業種: 建設

株式会社アロン 上田



労務・経理の自動化
業種: 製造業

トップリバー 御代田



経理・労務の自動化
農業

つづく（株）の主な支援先（2）

製造業
(プラスチック成形)
従業員30名

ホテル・温泉
従業員30名

動物病院
従業員15名

食品製造業
従業員4名

不動産・建築
従業員20名

建設業
従業員70名

新聞販売
従業員20名

飲食
従業員100名

米農家
従業員3名

トマト生産法人
従業員20名

建設機械レンタル
従業員10名

リンゴ農家
従業員7名

飲食・食品製造
従業員2名

デザイナー
従業員6名

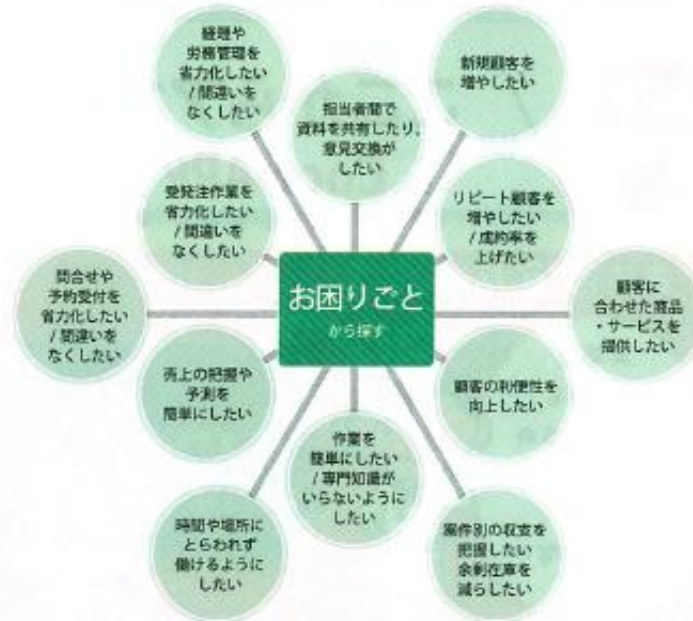
美容院
従業員 10名

宿泊・ホテル
従業員4名

中小企業基盤整備機構「ここからアプリ」（チラシ）

「業種から」「お困りごとから」
あなたなりの探し方が可能。

Coco APP



様々な業務に対応したアプリが探せます。

顧客管理アプリ ・名刺管理 ・顧客管理・営業支援 ・問い合わせ管理	受発注アプリ ・予約管理・販売管理 ・POS ・請求書発行 ・検算 ・EC	会計アプリ ・会計 ・経費管理	人事・労務アプリ ・人事・勤務管理 ・勤怠管理 ・給与計算
IT インフラアプリ ・ビジネスチャット ・グループウェア ・オンラインストレージ ・ホームページ作成		まずはここから始めてみよう！ 	
製造業向けアプリ ・生産管理	宿泊業向けアプリ ・予約管理 ・サイトコンテンツ ・PMS		

Be a Great Small.
中小機構

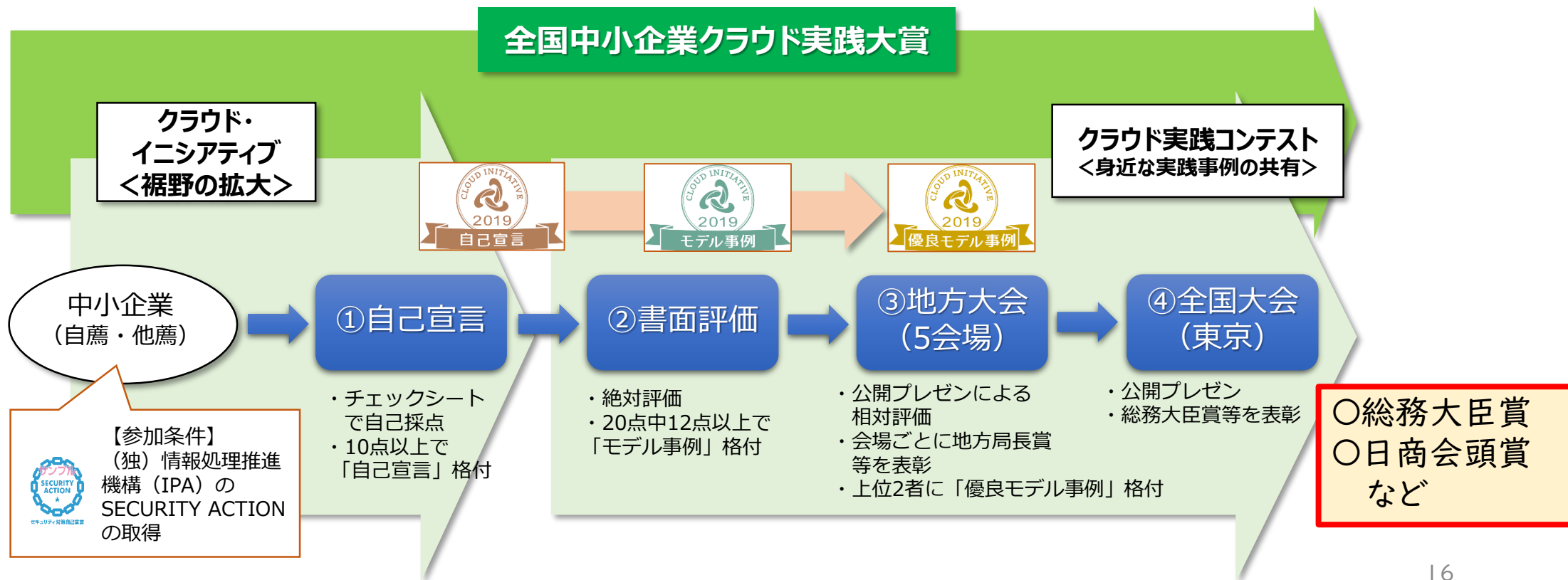
独立行政法人中小企業基盤整備機構
経営支援部支援機関サポート課
TEL:03-5470-1581

ここからアプリ

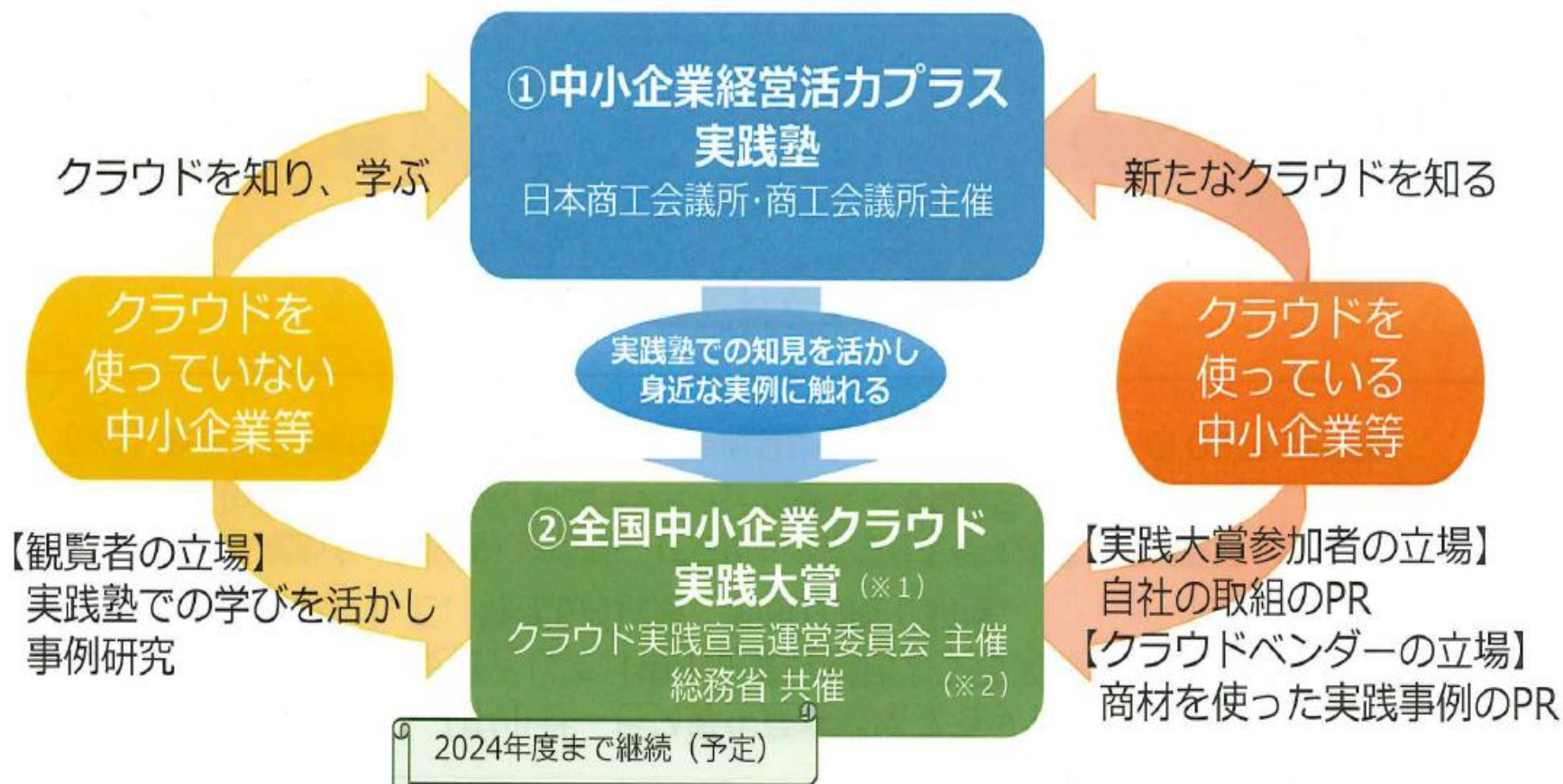
検索

「全国中小企業クラウド実践大賞」

- COUDIL、日本商工会議所等が構成する「クラウド実践大賞実行委員会」が主催。
- クラウド実践の裾野拡大に資するため、中小企業の自己宣言による「見える化」を薦める。
さらに、中小企業等自らによる公開プレゼンテーションのコンテストを開催し、優れた実践事例の情報共有を図る。
- 優れた実践事例には、総務大臣賞、地方局長賞、開催市市長賞等を設定。（経産大臣賞の交付も要望中）実践事例は、書面審査や公開プレゼンテーションの結果を踏まえて格付けを行い、次年度以降の実践塾等でモデル事例として紹介する。



プラス実践塾とクラウド実践大賞



(※1) 地方大会 5 カ所 (岩手、長野、石川、和歌山、福岡)、全国大会 1 カ所 (東京) で開催

(※2) 一般社団法人 クラウド活用・地域ICT投資促進協議会 (CLOUDIL) が、当面の間、事務局を務める

クラウド導入・活用による生産性とセキュリティの向上

